



1/7 交流センター主催「七草粥の会」

大歳交流センターだより

No.95 平成29年2月号

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035 FAX 922-4036

(行政窓口) TEL 922-2461

人数 13,253 世帯数 6,175

平成29年1月1日現在



成人式の集合写真お配りします！

1月8日(日)に市民会館で山口市成人式が開催されました。
新成人たちは、懐かしい友人たちとの再会に笑顔を浮かべながら、決意も新たに大人への一步を踏み出しました。

大歳地区の集合写真は、大歳地域交流センター後援会からのお祝いとして、無料でお渡しいたします。

受け取り期間：2月1日(水)～2月28日(火)

(平日の8時30分～17時15分まで)

場所：大歳地域交流センター地域担当窓口

問い合わせ・申込：大歳地域交流センター

(TEL 922-4035)

※御家族など代理の方でも受け取りができます。



山口市消防出初式

1月8日(日)に山口南総合センターで山口市消防出初式が開催され、鴻南方面隊大歳分団も参加しました。永年の消防活動の功績に対し、次の皆さんが表彰されました。(敬称略)

山口県消防協会長表彰

- 功績章
 - ・藤井 良彦
- 勤続章(勤続20年)
 - ・豊嶋 正典
- 感謝状(退職)
 - ・門田 誠治
 - ・坂本 清
 - ・針間 芳昭
 - ・尾崎 隆志

山口市長表彰

- 功労章
 - ・廣沢 礼子
 - ・藤川 京子
 - ・太尾田 剛
 - ・川上 鉄雄

山口市消防団長表彰

- 功績章
 - ・岡崎 雄一
 - ・林 智史

大歳地区健康相談のお知らせ

健診の結果や健康づくりについて、保健師や栄養士がサポートします。

2月はタブレットでストレスチェック・体組成(筋肉量・脂肪量)測定・血圧測定や食品に含まれる塩分量の展示を行います。また、みそ汁の塩分測定も実施します。

日時：2月10日(金) 10時～11時

場所：大歳地域交流センター

参加費：無料 持参品：健康手帳(お持ちの方)、健診診査結果等

みそ汁の塩分測定を希望される方は、みそ汁を50ml程度密封容器に入れてお持ちください。

問い合わせ：山口市保健センター (TEL 921-2666)



お祭り実行委員会のメンバーを募集します！

おとし夏まつりと大歳まつりの企画運営をおこなう実行委員会を立ち上げます。この実行委員会のメンバーを募集します！地域のお祭りを自らの手で盛り上げていきたいという方、ぜひ一緒にお祭りの内容を考えてみませんか？興味のある方は大歳地域交流センターまで御連絡ください！



問い合わせ：大歳地域交流センター
(TEL 922-4035)

大歳小体育館利用の調整会議について

新たに大歳小学校体育館の定期利用を希望される団体は、平成29年度の調整会議を既存団体とともにいきますので下記の条件を確認の上、2月8日(水)までにご相談ください。

<定期利用団体申請条件>

- ・山口市内に在住、在勤又は在学する者10人以上で団体を構成し、会員のうち半数以上が大歳地区在住者で構成する団体
- ・団体の監督者(責任者)が成人であること
- ・大歳地域交流センター並びに地域体育関連行事に協力・参加すること

問い合わせ：大歳地域交流センター
(TEL 922-4035)

お花づくりをお手伝いください

おひとり住まいの高齢者の方へお配りするふれあい弁当(大歳地区社会福祉協議会事業)に添えるペーパーフラワーを作ります。お手伝いいただける方は、大歳地域交流センターまでお越しください。

日時：2月6日(月) 10時～12時

2月13日(月) 〃

2月20日(月) 〃

場所：大歳地域交流センター 2階 講堂

持参品：工作用はさみ、お手拭き

問い合わせ：大歳地区社会福祉協議会

(TEL 920-1700)



走友会からのお知らせ

1月15日(日)にきらら博記念公園で開催された、第12回山口市駅伝競走大会の結果を報告します。

体協の部：大歳 7位(参加14チーム)

一般2部：大歳走友会 37位(参加89チーム)

一般2部：大歳走友会55 15位(参加89チーム)



史談会からのお知らせ 「没後70年兼重暗香」展の開催

史談会が昨年の大歳まつりで取り上げた、女性日本画家兼重暗香(かねしげあんこう)の作品展が山口県立美術館で開催されています。矢原に生まれ、花鳥画の名手として中央画壇で活躍した兼重暗香のすばらしい作品を是非ご覧ください。

展示期間：2月26日(日)まで

休館日：月曜日(ただし2月6日(月)は開館)

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

観覧料：300円(18歳以下と70歳以上の方は無料)

問い合わせ：山口県立美術館(TEL 925-7788)

また、史談会では随時会員を募集しています。詳しくは御連絡ください。

問い合わせ：武波 義明(TEL 925-4137)

料理教室参加者募集！ ～若い時から「減塩」を～

野菜をたっぷり使って減塩料理をみんなで一緒に作りましょう！

日時：2月17日(金) 10時～13時

場所：大歳地域交流センター

参加費：200円

持参品：エプロン、三角巾

定員：先着15名(定員になり次第〆切り)

講師：食生活改善推進員

メニュー

- ・雑穀ごはん
- ・れんこんハンバーグ
- ・いろどり和え
- ・白菜のホワイトスープ
- ・果物



第24期 山口シティカレッジ受講生募集

「山口シティカレッジ」で、政治・経済・文化等の幅広い分野の課題や地域課題を学び、地域社会やグループで活躍しませんか？

日時：平成29年4月～平成30年3月までの毎月第2木曜日 10時～12時（9月は第1木曜）

場所：山口市男女共同参画センター（ゆめぼぼら）第1講座室

対象・定員：市民先着50名（ただし初受講者を優先）

受講料：年間2,500円（開講時にご持参ください。視察研修は、別途一部負担）

申し込み方法：ハガキまたはFAXで申込み。

住所・氏名・電話番号・年齢・性別・受講歴（あり・なし）を明記のこと

申し込み先：山口市協働推進課

（〒753-8650 山口市亀山町2-1 TEL934-2912 FAX934-2665）

締め切り 平成29年3月3日（金）当日消印有効

講座内容：

月 日	講座内容	講師等
4月13日	開講式／災害多発時代を力を合わせて乗り切ろう	山口大学大学院特命教授 三浦 房紀
5月11日	豊かさを感じるためには	山口大学大学院教授 仲間 瑞樹
6月8日	くらしと政治	山口大学准教授 小川 仁志
7月13日	学長は語る	山口シティカレッジ学長 山口市長 渡辺 純忠
8月10日	健康づくりはまちづくり	山口県立大学学部長 田中 マキ子
9月7日	健康づくりはまちづくり ワークショップ	山口県立大学学部長 田中 マキ子
10月12日	【公開講座】 どう見る？日本経済	放送大学山口学習センター客員教授 山口大学名誉教授 藤井 大司郎
11月9日	【視察研修】 宇部市方面	宇部市内
12月14日	国際的に見た日本の人権事情	山口学芸大学学部長教授 香川 智弘
平成30年 1月11日	いのちの大切さ ～心穏やかに生きるには～	法界寺 住職 辻田 昌大
2月8日	加害者・被害者にならないために	山口警察署 交通課員
3月8日	閉講式／学びを活かすために	山口シティカレッジ 運営委員

【大歳地区2月の行事予定】

2日(木) 燃やせないごみの日

2日(木) 大歳小学校地域参観日(10:35～13:50)

6日(月) お花づくり(10:00～12:00)

10日(金) 大歳地区健康相談(10:00～11:00)

10日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)

13日(月) 金属・小型家電製品の日

15日(水) びん・缶の日

16日(木) 大歳小学校定期利用調整会議(19:00～)

17日(金) 料理教室(10:00～12:00)

17日(金) パソコン相談(10:00～12:00)

18日(土) 大人の居場所(13:30～15:30)

19日(日) 薬膳料理教室(13:30～16:30)

23日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)

24日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)

26日(日) 薬膳料理教室(13:30～16:30)

27日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)

※木曜日はプラ容器包装分別収集



秋葉さまという信仰

人間は動物とは違い、環境を作り変えることで、生活空間を拡大してきました。しかしそこには絶えず、自然とのせめぎあいがありました。そのせめぎあいを調整する上で、さまざまな神が生まれたのです。その一つに火防の神がありました。静岡県にある秋葉山と秋葉権現に対する秋葉信仰の始まりは、縄文以来の焼畑の中で、一定地域に火を放ち、延焼することなく鎮火させたいという火への思いがありました。火という自然物を扱う上で、神との取り決めがあり、一定の技術が儀礼化し、無事な営みを願ったのです。その技術に、修験道の呪術がありました。それは、延焼を防ぐために防火の「神札」を焼畑地に立てて祈るという方法でした。そのような修験道の技術と、修験者たちの山岳霊場であった秋葉山が結びつくことで、「神札」としての「秋葉札」は生み出されたのです。修験道とは、日本古来の山岳信仰が密教等を取り込むことで独自の展開をしたものですが、日本における火の信仰はこの修験道を基に育まれたのです。愛宕信仰、古峰信仰、そして秋葉信仰もその一つでした。その中で秋葉信仰は、三尺坊という修験道の行者を大権現として祀ることで、後世につながる発展を得たのです。三尺坊は、もとは越後の蔵王堂にあった十二の坊堂の内、三尺坊という堂にいた修験者でした。それが秋葉山に勧請され、菩薩の仮の姿として神格化し、大権現として信仰対象となりました。秋葉信仰は江戸期に火防の神として人びとに信仰され、常夜燈を配備した複数の秋葉道が形成され、秋葉山への参詣が盛んになりました。山頂には秋葉神社があり、傍には秋葉寺があって、祈祷などの儀礼を取り仕切っていたのです。幕末の「ええじやないか」という民衆運動の際、東海地方における降札数は、伊勢神宮を押さえて秋葉札が一番でした。

しかしそれも、明治の神仏分離、廃仏毀釈によって、神仏習合であった秋葉信仰は、秋葉神社、秋葉寺、可睡斎秋葉総本殿と三分裂しました。そこで信仰の衰退を防ぐため、積極的な教宣活動がなされ、明治から昭和初期にかけて全国的な広がりを見せました。寺院関係でも、秋葉さまを祀る寺院は、ほとんどが曹洞宗でしたが、その他天台宗、真言宗、臨済宗などの寺院にも祀られるようになりました。その普及も町内会組織に沿う形で、地縁集团的に広がり、町内の世話人から秋葉さまのお札をもらい、御初穂料もしくは講金を納めるというものでした。

その流れのなかで、勝井の秋葉さまも、明治二十八年に臨済宗の普門寺から勧請され、町内会組織の中で守られてきたのです。それは信仰というより、習俗と化したものでした。秋葉さまの行事は、町内会の持ち回りで、毎年三月に行われています。生活の全てを奪ってしまう火に対する恐れは、秋葉さま以外、大内管内の愛宕社、前町の秋葉神社、木町の人麻呂社（火止まる）などが勧請されました。

今日、勝井にある秋葉さまの風情は一変しました。山口宇部道路が麓をはしり、山あいの中に人知れず佇んでいた祠は今では見晴らしのよい長い階段を登りつめた奥に、鎮座することになりました。祠には、三尺坊と思われる修験者像が安置されています。そして近くの運動部の生徒らの鍛錬の音が響いてくるのです。習俗と化した小さな信仰？は、地縁集団が衰退する中で、何処に向かうのでしょうか。かつて荒ぶる自然との調整を火防の神に託して安寧を願ったように、今後も我々はこの小さな信仰を守り続けることができるのでしょうか。大歳地区を俯瞰する高見から、火防の神は何を思っているのでしょうか。 (大歳史談会 文責：黒田五郎)

参考文献：

田村貞雄監修

『秋葉信仰』雄山閣

(平成10年)



右が勝井の「秋葉さま」を安置している祠堂、左が祀られている「秋葉さま」